

【リカバリー王Z】競合するソフトウェア

以下のソフトウェアは、リカバリー王Zと同環境で動作させることができない製品です。

1. ディスクの最適化を行うソフト全般

リカバリー王Zの修復対象となっているパーティションに対して、ディスクの最適化を実施しないでください。特に、リカバリー王Zの修復対象となっているシステムパーティションに対しディスクの最適化をすると、OSが起動しなくなる可能性があります。ディスクの最適化をする場合は、保護解除モードの状態にて実施するか、リカバリー王Zをアンインストールしてから実施してください。

2. ディスク修復を行うソフト全般

リカバリー王Zの修復対象となっているパーティションに対して、ディスクを修復するソフトを実行すると異常が発生します。ディスクを修復するソフトを実行する場合は「スキャンディスクおよびチェックディスク」と同様の手順にて実行してください。

3. パーティション変更ソフト

リカバリー王Zの修復対象領域として設定されているパーティションに対して、パーティションを変更するソフトにて領域の変更等を行った場合は、Windowsシステムに異常が発生することがあります。※Partition Manager、PartitionMagicなどのソフトがあります。

4. ディスク暗号化ソフト

リカバリー王Zが対応している暗号化機能は、BitLockerドライブ暗号化の機能およびデバイスの暗号化の機能のみとなります。他のディスク暗号化ソフトがインストールされている環境にリカバリー王Zをインストールした場合には、ディスク暗号化ソフトまたはリカバリー王Zが正しく動作しない可能性があり、OSが起動しなくなる可能性もあります。

5. USNジャーナルを利用したソフト

USNジャーナルを利用したソフトやOSの機能は、ファイル・フォルダ単位の管理方法(保護タイプ)にて動作モードを「修復モード」にした場合に正しく動作しない場合があります。(例:Windowsのフォトアプリ)

6. 仮想マシン提供ソフト

VMware WorkstationやOracle VM VirtualBoxなどの仮想マシンでは、仮想環境を保存するためのファイルのサイズが数十GB以上となり、一般のファイルと比較して非常に大きなサイズとなります。このため、これらのファイルがリカバリー王Zの修復対象になっている場合、仮想マシンの起動が遅くなる場合があります。この場合は、仮想マシンのフォルダを修復対象外に設定しておき、ゲストOSの修復は仮想マシンのスナップショット機能等を利用ください。なお、この現象は管理方法(保護タイプ)がファイル・フォルダ単位の場合にのみ発生し、管理方法(保護タイプ)がパーティション単位の場合には発生しません。

7. USB接続セキュリティーキー

USBセキュリティーキーがインストールされているPCにリカバリー王Zクライアントをインストールし「修復モード」への切り替えを行った場合、OSの起動ができなくなります。このソフトをアンインストールしてからリカバリー王Zをインストールしてください。

8. エクセル統計(社会情報サービス社製)

エクセル統計がインストールされているPCにリカバリー王Zクライアントをインストールし、ファイル・フォルダ単位の管理方法(保護タイプ)にて動作モードを「修復モード」にした状態でエクセルを起動すると、エラーメッセージが表示されエクセル統計が正常に動作しません。これはOfficeインストールフォルダ内のXLSTART¥SSRIXT.xlaを修復対象外にすると、問題を回避できる可能性があります。

9. Vectorworks(エーアンドエー株式会社製)

VectorworksがインストールされているPCにリカバリー王Zクライアントをインストールし、ファイル・フォルダ単位の管理方法(保護タイプ)にて動作モードを「修復モード」にした状態でVectorworksを起動するとツールパレットのアイコンが正しく表示されない場合があります。これはVectorworksのインストールフォルダのPlug-Insフォルダを修復対象外にすると、問題を回避できる可能性があります。

10. Intel Rapid Start Technology(インテル株式会社製)

Intel Rapid Start Technology がインストールされている PC にリカバリー王 Z クライアントをインストールし、「修復モード」もしくは「修復保留モード」に変更した場合、PC のシャットダウンが正常に行われず(黒い画面のまま待たされる)場合があります。この現象が発生する場合は、Intel Rapid Start Technology をアンインストールした上で PC の BIOS 設定より同機能を無効にすると、現象を回避できます。

11. SuperMap GIS(日本スーパーマップ株式会社製)

ファイル・フォルダ単位の管理方法(保護タイプ)にて動作モードを「修復モード」にしたPCにおいて、SuperMap GISよりワークスペースの作成を行った場合、保存したファイルがフォルダ内に表示されない場合があります。この場合、F5キーを押すことでファイルは表示されます。

12. Mastercam(株式会社ゼネテック製)

ファイル・フォルダ単位の管理方法(保護タイプ)にて動作モードを「修復モード」にしたPCにおいて、Mastercamよりファイルの保存を行った場合、保存したファイルがフォルダ内に表示されない場合があります。この場合、F5キーを押すことでファイルは表示されます。また、全角英小文字を含むフォルダヘッファイ

ルを保存した場合、正しくファイルが保存されません。この場合、全角英小文字を含まないフォルダ、または修復対象外のフォルダへ保存してください。

13. EMBASSY Security Center (Wave Systems社製)

EMBASSY Security CenterがインストールされているPCにリカバリー王Zクライアントをインストールし、ファイル・フォルダ単位の管理方法(保護タイプ)にて動作モードを「修復モード」にすると、STOPエラーが発生する場合があります。この場合、EMBASSY Security Centerをアンインストールしてからリカバリー王Zクライアントをインストールしてください。

14. OneDrive (Microsoft社製)

ファイル・フォルダ単位の管理方法(保護タイプ)にて動作モードを「修復モード」にしたPCにおいて、OneDriveに保存したファイルはPCを再起動すると削除されます。ただし、以下のフォルダを事前に修復対象外にしておくとファイルは削除されません。

- ・C:\Users\ユーザー\AppData\Local\Microsoft\OneDrive\logs\
- ・C:\Users\ユーザー\OneDrive\ または C:\Users\ユーザー\OneDrive - 組織名\

15. ワークフォルダー (Microsoft社製)

リカバリー王Zクライアントの動作モードが「修復モード」の場合、Windows Serverの記憶域をファイルサーバーとして利用する[ワークフォルダー]の機能は利用できません。

16. PCL+クライアント (テクニカルニットウ社)

テクニカルニットウ社のPCL+クライアント機能がインストールされたPCに対してリカバリー王Zクライアントをインストールする場合、インストール時の設定に関わらず、保護解除モード設定としてインストールされる可能性があります。この現象が発生した場合、リカバリー王Zを修復モードでご利用される場合は、インストール後に動作モードを修復モードに変更してください。

17. 定期的なアクティベーションを必要とするソフト

クラウド製品等、定期的なアクティベーションを必要とするソフトを利用する場合、リカバリー王Zを一旦、保護解除モードに変更してからアクティベーションを実施する等の対処を取ってください。

18. Teams (Microsoft社製)

Teamsの仕様では、3ヶ月より前に更新されたTeamsデスクトップクライアントを起動しようとするとブロックページが表示され更新を促されます。ブロックページが表示されないようにするには、保護解除モードにして更新を実施するなど、定期的に復元ポイントを更新する必要があります。